

いくたりよくち りよう 生田緑地を利用されるみなさまへ

いくたりよくち えんない しぜんほぜん こうえん りよう あんしん あんぜん ひとりひとり まも
生田緑地には園内の自然保全と公園を利用されるみなさまの安心・安全のために一人一人に守って
ただきたいルールがあります。どうぞご理解・ご協力をお願いいたします。

■生田緑地の自然をずっと楽しむためにお願いしたいこと



えんろ ひろば いかい ばしょ
園路・広場以外の場所へは
はい
入らないでください。



い もの
生き物にエサをあげないで
ください。



い もの も かえ
生き物を持ち帰らないで
ください。



いし つち さいしゅ
石や土などの採取をしないで
ください。



しょくぶつ も かえ
植物を持ち帰らないでください。



そと しょくぶつ い もの も こ
外から植物や生き物を持ち込まな
いでください。

■みんなの安心・安全のためにお願いしたいこと



あそび ふく ひと
ボール遊びを含め、ほかの人に
めいわく きけん
迷惑や危険となる遊びはしない
でください。



かなら も かえ
ペットのフンは必ず持ち帰って
ください。



は
テントやタープを張ったり、
のじゆく
野宿をしたりしないでください。



つ
ペットにはリードを付けて
ください。



ひ しょう
火の使用はできません。
はなび
バーベキューや花火も
できません。



ばこ
ゴミ箱はありません。
も かえ
ゴミは持ち帰ってください。



きんえん
禁煙です。



じてんしゃ お
自転車は降りてください。



生田緑地は私たちの大切な財産です。生田緑地の貴重な自然を守り、未来に引き継いでいくためには、みなさまのご理解とご協力が必要です。

【生田緑地憲章】

私たちは、生田緑地の自然や歴史文化を大切にし、さらに楽しく気持ちよく利用できるよう協働により、生田緑地の良好な管理に努めます。

私たちは、生田緑地の自然のいとなみを守るため、生き物を持ち出したり、他の地域の生き物を持ち込んだりしないようにします。

【どうしていけないの？】

Q. どうして園路・広場以外の場所に立ち入ってはいけないの？



生田緑地には年間100万人以上の人を訪れます。例えばある植物にとって、人の一踏みはさほど大きなダメージにならないかもしれませんが、もしその植物が100人に踏みつけられたとしたら、きっと植物は死んでしまうでしょう。たくさん踏みつけられる場所からは緑が消えてしまい、残るのは土だけになってしまうのです。

また、草むらや林の中には危険なハチやヘビが隠れているかもしれません。気がつかずに踏み込んでしまうと、思わぬ事故につながりかねません。

Q. どうして生き物を持ち帰ってはいけないの？



例えば子どもたちが大好きなカブトムシ。もし1000人の子どもたちが1匹ずつ家に持って帰ったとしたら、生田緑地からは1000匹のカブトムシがいなくなってしまいます。1匹のカブトムシが生む卵の数は20～30個です。その中で無事に成虫になれるのは、おそらく3～4匹でしょう。来年も生田緑地でたくさんのカブトムシに出会うためには、できるだけ多くのカブトムシに卵を産んでもらう必要があります。

昆虫やトカゲ・カエルなどの動物は観察したら必ず逃がしてあげましょう。

Q. どうして植物を持ち帰ってはいけないの？



例えば1人が持ち帰る植物がたった1株だとしても、もし1000人が同じように1株ずつ持ち帰ったとすれば、生田緑地からは1000株の植物が消えてしまいます。その場所から同じ種類の植物がすべて無くなると、そこでは二度と同じ植物を見ることができなくなってしまいう可能性もあります。また、植物は花を摘み取られてしまうと種ができません。種ができないとその植物は増えることができません。植物は折り取らずに、そっと観察しましょう。

Q. どうして生き物にエサをやってはいけないの？



一度人からエサをもらった野生の動物は、自分でエサを探すよりも、人からもらった方が楽なことを覚えてしまいます。自分でエサを探さなくなった動物は、だんだんと自分の力で生きる能力を失っていきます。また、今までその動物に食べられていた別の生き物が爆発的に増え、生態系のバランスが大きく崩れてしまうと、ほかの生き物たちの生活も脅かされることになってしまいます。野生の生き物たちにとっての一番の優しさは、安易にエサを与えるのではなく、ただそっと見守ることなのです。

Q. どうして土や石などを採取してはいけないの？



生田緑地では大きく分けて泥岩層、砂礫層、火山灰層という3つの地層を観察することができます。おそらく多摩丘陵の地形や地質の成り立ちをこれほど詳しく観察できる場所はあまり多くないでしょう。生田緑地の露頭（ろうとう＝地層が露出した場所）を地域の宝として守り続けていくために、石や土を削り取ったり、持ち去ったりしないで下さい。